明日花川 秋号

特定医療法人明徳会 佐藤第一病院広報誌

あすかがわ
2014.10.8
No.35

日本医療機能評価機構
認定第 JC901 号

目次 CONTENTS

～特集～
新外来棟全面オープン …… 2～7
知って得する医療ナビ「麻酔科医のお仕事」 … 8～9
Dr.平井の快適ライフ …… 10～11
外来担当医一覧表 …… 11
新入職員紹介 …… 12

理　念

特定医療法人 明徳会 佐藤第一病院は、
1．患者さまの尊厳を守り、地域に密着した質の高い医療を目指します。
1．たえず医療水準の向上に努め、チーム医療を推進します。

運営方針

1．わたしたちは、専門スタッフがそれぞれの役割を分担し、患者さまを中心にしたチーム医療を行います。
1．わたしたちは、患者さまご家族との信頼関係を大切にし、満足して頂けるように人格形成をはじめ、知識、技術の向上に努めます。
1．わたしたちは、病院職員としての誇りと責任を持って、他の医療機関、施設との連携をすすめます。
1．わたしたちは、よりよい医療を提供するために、相互啓発し魅力ある職場づくりを目指します。

患者さまの権利

わたしたちは、患者さまの以下の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います。

1．個人の尊厳を尊重します。
2．最善の医療を受ける権利を尊重します。
3．医療に関して知る権利を尊重します。
4．プライバシーが守られる権利を尊重します。
5．自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します。

ゆったりと落ち着いて受診して頂ける環境を目指しました

特集

新外来棟が全面オープンしました

エントランスホール

コンビニエンスストア

ガーデンテラス

受付・会計窓口

理事長
佐藤　仁一

平成24年秋から続いた外来棟増改築工事が、7月末に完了いたしました。工事期間中は大変ご迷惑をおかけしましたが、おかげさまで無事に病院建替え計画が一段落いたしました。

平成4年の画像診断部増改築、平成16年の病棟増改築に続き、最後に外来棟として使用していた、病院開設時に建築（昭和45年）した部分を撤去し、その跡地に新外来棟を建替えました。これにより、当院はすべて現代の耐震基準に合致した、近代的な病院へと生まれ変わりました。

新外来棟は玄関から医事課受付部分を1階から2階まで吹き抜け構造とし、明るく開放的な空間になっています。また、受付から左側に各科全診察室を配置し、右側方向にリハビリテーション科及び病棟を配置する等、機能的で分かりやすい構造となっています。

新病院にて、職員一同より一層地域の患者さまのため尽くしていきたいと思いますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

受付、外来ホール、待合室のスペースを拡張し、

診察室

処置室

待合室

薬剤科：クリーンルーム

臨床検査室

院　長
中原　成浩

2年以上の歳月をかけて行って参りました外来棟の新築工事が完了し、装いを一変した建物を見て、改めて身の引き締まる思いです。これからは〝外観は良いが中身はね…〟と言われないよう、当院の診療方針である「接遇・自己研鑽・チーム医療」の3本柱に今まで以上に力を注ぎ、より一層磨きをかけなければならないと考えております。入院あるいは外来で当院においでになられる患者さまに少しでも快適で、ゆっくり安心して治療ならびに療養できる環境を提供できる事がまず大切と考え、その上で内容が伴うように、これからも努力と研究を重ねていく所存です。そして地域に信頼され、地域の皆さまの健康維持に少しでも貢献できる病院になることを目指しております。まだまだ至らない点は多々ありますが、地域完結型の病院・医療を目指しこれからも邁進していく方針です。今後とも宜しくお願い申し上げます。

検査・手術設備の刷新と拡充

手術室

今回の改築を機に、手術室の全面的な改善計画を立て、医師、手術室スタッフの意見を織り交ぜながら、専門業者の方に協力して頂き、現在のＮＥＷ手術室が完成しました。

特徴として、全体的に青と白を基調とした内装になっています。

手術室に入られる患者さまに、少しでも安心して手術を受けていただけるような空間にしました。今回、医療ガス・電気・アウトレットが搭載されたシーリングペンダントを導入し、術式によりシーリングペンダントを変化させ、機能的かつ効率的な環境を作り出しています。手術室で働くスタッフも設備に負けないスキルアップを目指して精進していきたいと思います。

DSA室

新外来棟改築に伴い、最新型の血管撮影装置（DSA）装置を導入致しました。従来型の装置と比較して、少ないX線でより鮮明な撮影が可能となり、患者さまの被曝低減にも繋がります。また、３D画像の作成も可能となり、撮影後の画像処理により、血管の走行や重なりを３次元的に評価が行え、より診断価値の高い画像を提供出来るようになりました。検査のみならず、体を切らずに治療が行える、血管内治療にも一翼を担う装置となっております。

消化器内視鏡センター

消化器内視鏡センターの開設に伴い、最新の内視鏡システム（オリンパスEVIS LUCERA　ELITE CV-290）と内視鏡洗浄器（OER-4）を導入し、より精密な病変の診断、安心・安全な医療器具の提供が可能になりました。また、以前の内視鏡室では、検査室・前処置室・リカバリー室が離れており、ご迷惑をおかけしていましたが、改築後は全て同じフロアで行うことが出来るようになり、検査の効率面・環境面が改善されました。

患者さまからは、「広くなったねー」「きれいねー」と大変好評です。

地域の皆さまへ安全に検査・治療が提供できるよう、スタッフ一同努力していきたいと思います。

より充実した365日リハビリテーション

リハビリテーション室が総合リハビリテーション室に生まれ変わりました。
急性期–回復期–生活期（外来・通所）が連携した関わりを行えるようになりました。

和室・台所も新たに設置し、より生活に即したリハビリが提供できるよう設備を充実させました。

人間の身体機能を拡張および増幅するロボットスーツHALを取り入れながら、歩行の不安定の改善に全力を尽くし、リハビリを行っております。
チームHALは「明るく元気に最高のHALリハビリを提供する」をモットーに、水曜日と土曜日にHALを使ったリハビリテーションを実施しています。

相談窓口、その他の周辺サービス

地域と患者さまを繋ぐ窓口として「患者さま相談窓口」

入院中の患者さまや外来患者さまの医療福祉相談については、患者さま相談窓口を設置し、専門スタッフが対応させて頂きます。

例えば「退院を勧められたが、退院後の生活に不安がある」、また「医療費の支払い等、経済的な不安がある」等、様々な相談に対応致しております。

その他、療養生活における心配ごとなどの相談にも対応させて頂いておりますので、お困りの際は、お気軽に当院受付にお問い合わせください。

患者さま相談室

車椅子での乗り降りが便利になりました

天候不順時の通院負担軽減のため、正面玄関に車寄せを設置しました。

雨の日でも患者さま、介助される方が濡れることなくご来院頂けます。

車椅子車が複数同時に乗り降りすることも可能です。

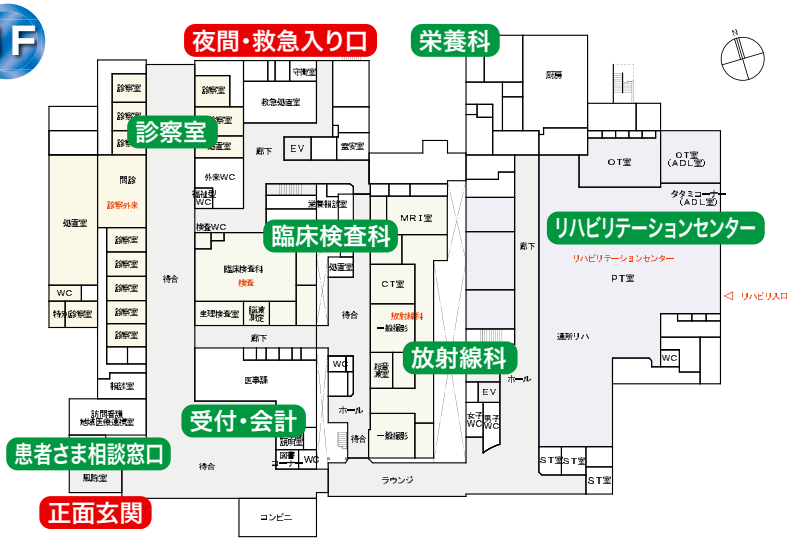
急な入院に必要なものも取り揃えています

受付前にコンビニエンスストアがオープンしました。

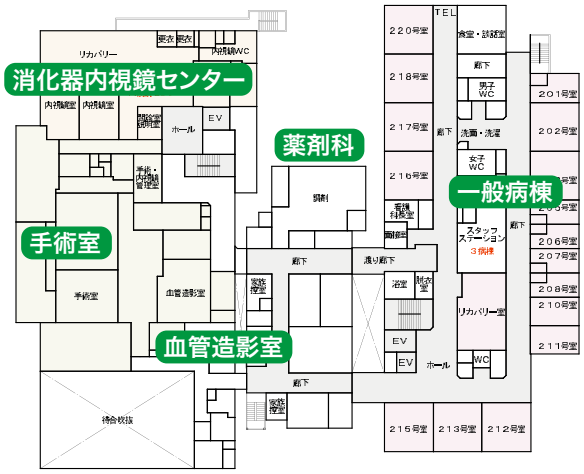
日用品のほか、栄養補助食品や口腔ケア用品、一部福祉用具も販売しています。また、急な入院の際に必要になる物品も準備しています。ご入り用のものやご不明な点がございましたら、お気軽にスタッフへお声掛けください。

各フロア見取り図

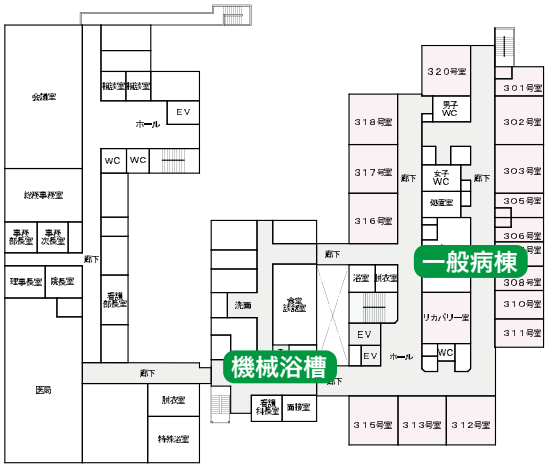
1F



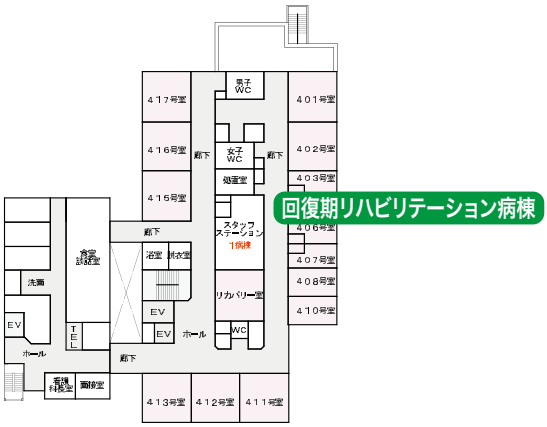
2F



3F



4F



1F

- 受付、会計
- 診察室
- 臨床検査科
- 地域医療連携室
- 患者さま相談窓口
- 放射線科
- リハビリテーションセンター
- 栄養科

2F

- 消化器内視鏡センター
- 手術室
- 血管造影（DSA）室
- 薬剤科
- 一般病棟

3F

- 一般病棟
- 機械浴槽（ハーバード浴）

外来棟改築工事に伴い、ハーバード浴とチェアー浴を刷新しました。
最新のハーバード浴では、音声や電子音でのお知らせ機能、さまざまな表示機能やジェットバスなど便利な機能が装備されており、患者さまの安全、安楽な入浴の為に役立てています。

4F

- 回復期リハビリテーション病棟

知って得する医療Navi

麻酔科医のお仕事

麻酔科医と聞くと「手術のときに麻酔をかける」というイメージがありますが、実際には手術をされる患者さまの全身状態を管理し、いろいろな合併症を持たれた患者さまが安全に手術を行えるようサポート等を行います。当院では患者さまの安全・負担軽減のため、手術を行う担当医と麻酔科医が協力して診療を行っています。

今回は麻酔科医の役割と当院での診療内容について、専門医から分かりやすくお話させて頂きます。

麻酔科部長　杉岡　章光
モットー：一期一会

○はじめに

こんにちは。佐藤第一病院の杉岡章光と申します。出身は福岡で九州大学病院麻酔科・蘇生学講座に入局後、福岡県内の様々な病院で麻酔科医として働いてきました。昨年4月より縁あって佐藤第一病院で働きはじめ、早いもので1年半が経とうとしています。

当院は大分県北部地域でも常勤麻酔科専門医のいる数少ない病院の一つです。患者さまに安心して手術を受けて頂けるように、外科ドクターや手術部のスタッフと連携して、日々安全な医療を心がけています。定例手術はもちろん、長時間の検査や緊急の手術でも安全かつ円滑に行えるよう、麻酔科医が管理をしています。

○麻酔科医の役割について

麻酔科医の主な役割は手術時の麻酔です。手術を受ける患者さまの術前の状態を評価し、手術中は患者さまのそばにいて、最適な麻酔と呼吸・循環などの全身管理を行います。

手術中に患者さまが危険な状態に陥らないように全身の管理を絶え間なく行い、異常が生じた場合には迅速な対処を行えるよう備えています。

当院で行われる手術のうち、ほぼすべての全身麻酔症例を麻酔科医が担当しています。

また、関連施設である佐藤レディースクリニックでの帝王切開手術でも麻酔科医が麻酔を担当しています。

○当院で行っている麻酔法について

手術の際に行う麻酔法には、局所麻酔（脊髄くも膜下麻酔・硬膜外麻酔・神経ブロック）、全身麻酔、またその両者を組み合わせる方法があります。手術の内容や患者さまの状態に合わせて最適と考えられる麻酔方法を選択します。

▼当院での麻酔法：局所麻酔について

局所麻酔薬を用いて神経ブロックすることで、手術に伴う痛みを軽減します。局所麻酔法の種類として、次のものがあります。

① 脊髄くも膜下麻酔
② 硬膜外麻酔
③ 神経ブロック

① **脊髄くも膜下麻酔**はいわゆる下半身麻酔で、下肢や下腹部の手術の際に行います。術後しばらくは足がしびれた状態が続きますが、自然と回復してきます。

② **硬膜外麻酔**は胸やお腹といった一部分の痛みを取る麻酔法です。

1回だけ痛み止めを入れる場合と、専用の管を留置して術後の持続鎮痛として使用する場合があります。合併症もあり、施行できない患者さまもいますが、乳腺・腹部の手術の際にはほとんどのケースでこの麻酔法を行っています。硬膜外麻酔ができない患者さまでも、別の鎮痛法で術後の疼痛をコントロールしています。

麻酔法は、手術室のベッドの上で横向きになってもらい、背中を丸めた状態で背中側から行います。背中側での手技の為、患者さまに見えませんので、次に何をするか声をかけつつ充分に痛み止めを使って行います。

③ **神経ブロック**は手術を受ける部位の痛みを感じる神経近くに痛み止めを打つことで、手術部位の痛みを感じなくする麻酔法です。起きた状態、眠った状態の両方で行う場合があります。

▼当院での麻酔法：全身麻酔について

全身麻酔薬を用いて、意識がない状態で手術を行います。全身麻酔の手順は以下のようになります。

① 手術室入室後、各種モニターを装着します。その後麻酔の注射薬もしくは顔にあてたマスクからの麻酔薬の吸入で、すぐに眠ってしまいます。

② ほとんどの全身麻酔の場合、麻酔中に呼吸の管理を確実に行うため、眠った後に喉に専用のチューブを入れます。（手術終了後、目が覚め、呼吸がしっかりできていることを確認したのちにチューブは抜きますが、その影響で2、3日は喉に違和感が残ることがあります。）

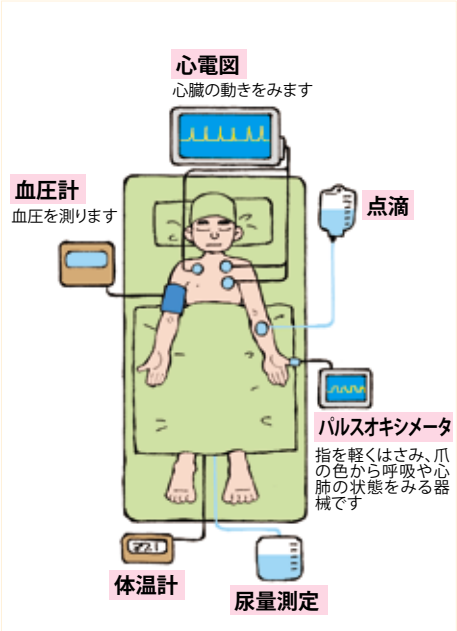
また、必要に応じて手首や足の甲の動脈、体の中心に近い太い静脈にカテーテルの挿入を行うことがあります。

③ 手術中は持続的に麻酔薬を使い、眠った状態・痛みを感じない状態で手術を受けていただきます。

○病室から手術室での準備

手術当日、病室では必要に応じて麻酔前投薬の内服や注射、点滴を行います。

手術室入室時、手術室スタッフが患者さまの本人確認・術前の状態の確認・病棟からの点滴の状態を確認します。点滴が入っていない場合には手術室で点滴を始めます。手術室に入室後、安全に麻酔を行うために必要なモニター類（心電図、血圧計、パルスオキシメータなど）をとりつけ麻酔開始となります。



※手術前日は、指定した時刻以降の飲食を制限しています。これは、麻酔中に嘔吐することで吐物が肺に入り、重篤な肺炎や窒息を起こして生命が危険に晒されることを防ぐためです。

○手術中の麻酔管理

手術中は良好な麻酔の状態を維持するとともに、患者さまの状態を絶え間なく看視し、手術に伴う体の変調の予防と早期発見・早期治療に努めています。

○麻酔からの回復と手術後の管理について

局所麻酔では、術後しばらくは感覚低下や筋力低下（正座のあとの足がしびれたような感じ）が残りますが、時間がたてば次第に回復していきます。

全身麻酔からの覚醒に要する時間や覚醒状態は、年齢や基礎疾患など様々な要因により影響を受けますが、基本的には覚めない麻酔はありません。すこしボーっとした状態のこともありますが、基本的には目が覚め、呼吸がしっかりした状態で病棟へ戻っていただきます。ただし、緊急手術や重症の患者さまで術後に厳重な看視が必要であると麻酔科医が判断した場合には、眠った状態で術後回復室などに入室する場合もあります。

術後の痛みに関しては手術を受ける患者さまの心配事の一つですが、当院では術後も2日から3日間、持続で痛み止めを投与する鎮痛法（持続硬膜外麻酔や鎮痛薬の持続静注）を積極的に行い、患者さまが苦痛なく術後を過ごしていただけるよう努めています。

○さいごに

予定された手術では、手術前に担当の麻酔科医・看護師が問診、診療内容の説明のために病室へ伺います。分からないことや疑問な点はその際にご遠慮なくお聞きください。

お役立ち医療コラム

Dr.平井の 快適ライフ！Vol.3

その眠気は夏の疲れ？

～ほんとうに単純な睡眠不足ですか～

呼吸器内科部長
平井　一弘

●睡眠は大切な生活のリズム

私達は人生の3分の1を睡眠にて過ごしているといわれます。この睡眠のリズムが崩れると「眠い」や「だるい」というだけでなく、生活習慣病や心臓病・脳血管障害などを起こすとされます。睡眠を妨げる因子はいろいろですが、最近注目されているものにSAS（睡眠時無呼吸症候群）という病態があります。

●SASとは

寝ている途中にトイレに行きたくなって目が覚めることはよく経験することです。しかし、自分で気がつかないで呼吸が止まったり浅くなる回数が多くなり、睡眠が妨げられ体に取り込まれる酸素の量が少なくなることをSASと呼んでいます。仕事中や運転中などに寝てしまうと大きな事故につながります。日頃でも食事中や歩いている途中で寝てしまい怪我をすることもあります。

●原因は

太っている人に多いのは確かです。しかし痩せていても顎が小さい人やアレルギーなどで鼻が詰まりやすい、喉が弱く風邪をひきやすい、アルコールや睡眠薬で喉周囲の筋肉が緩んでいる人などにも起こりやすくなります。

●どんな症状があるの

日中居眠りをしたり、集中力や記憶力が低下します。怒りっぽくなることも。夜中ふと目が覚めやすくなります。家族が見ていると呼吸が止まっていることがわかることもあります。いびきをかく人は要注意です。朝の目覚めは悪くなり起き辛くなります。

●どうやって調べるの

簡単な問診だけでわかることもあります。また、症状が疑われるときは家でできる簡易型の動脈血酸素飽和度と呼吸状態の簡易測定器で一晩の呼吸と睡眠の状態をチェックしていただきます。

この検査で異常値がでるようなら、病院に一泊して調べるPSG※（ポリソムノグラフィー）という睡眠時の脳波や口鼻の気流状態、呼吸の途絶・低下などを調べる詳しい検査を行います。

※当院ではPSG検査器機を刷新し、一度の検査で睡眠時無呼吸の診断ができるようになりました。

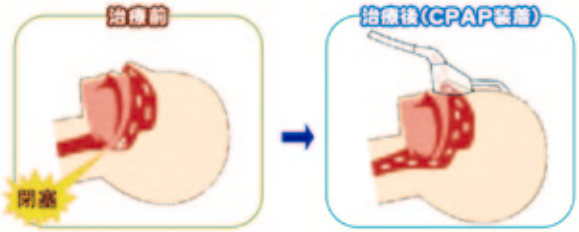
●治療は

減量（体重のある方）、生活習慣病の改善、CPAP、口腔内マウスピースや手術がありますが、一般的にはCPAPと呼ばれる呼吸を助ける装置が適しています。

●CPAP

PSG検査で低呼吸・無呼吸指標が20以上の時はSASと診断され、口や鼻に装着したマスクから睡眠時に空気を送り込んで一定の圧力をかけるCPAP（Continuous Positive Airway Pressure）が一番重要な治療として使われます。

健康な人の気道は吸気時には開かれていますが、SASの方は吸気陰圧によって気道の柔らかな組織が内腔に引き込まれうまく息ができなくなり、周りが振動していびきが発生します。CPAPでは空気圧で気道に空気の通り道が確保され、楽な呼吸・快適な睡眠ができるようになります。



●どうすれば

まずは呼吸器科の専門医に相談してみましょう。当院ではスタッフにお声をかけていただければ呼吸器科専門医がお話を伺い、検査が必要かどうかの説明をいたします。検査が必要なときは在宅での簡易検査の方法や結果の説明、さらにSASが疑われれば一泊入院でのPSG検査を行い、適正な治療方針をご提案いたします。一日も早く快適な睡眠をとりもどし、すっきりとした日常と健康な体で過ごせるようにしていきたいものですね。

あなたは大丈夫？次ページをチェック！

睡眠時無呼吸症候群の可能性は？ ～簡単自己チェック～

問2 次のうち、1つに該当しますか？（あてはまるものにチェック）

- □ 昼食後に眠気がくる
- □ 夕食前に体がだるくなる

「はい」

問1 次のうち、2個以上に該当しますか？（あてはまるものにチェック）

- □ 睡眠中に息苦しさやあえぎ声をあげたことがある
- □ 夜何度も目を覚ます
- □ 起床時に熟睡感がない
- □ 日中の疲労感がある
- □ 集中力を切らし、ボーっとしてしまう事がある
- □ 周囲の人から「いびきをしている」または「呼吸が止まっている」と指摘されたことがある
- □ 睡眠中に息苦しさを覚えて目が覚めた経験がある

「はい」

問1、問2がどちらも「はい」の方

睡眠時無呼吸症候群の疑いがあります 検査を受けられる事をお勧めします

外来担当医一覧表 ～平成26年10月1日現在の外来体制です～

午　前

●午前受付時間 11:00まで　<ご注意>お電話での受付は行っておりません。

診療科目＼曜日	月	火	水	木	金
内科（1診）	平井　一弘	平井　一弘	大森　薫	大森　薫	藤井　郁夫
内科（2診）	藤井　郁夫	姜　正広	藤井　郁夫	姜　正広	姜　正広
内科（3診）	吉田　加奈子	藤井　郁夫	―	―	―
消化器外科・肛門科	―	(大分大学)	宮﨑　信彦	―	宮﨑　信彦
消化器外科・乳腺外科	広瀬　宣明	―	―	広瀬　宣明	―
脳神経外科	中原　成浩	山崎　達男	中原　成浩	山崎　達男	山田　清文
放射線診断科	佐藤　仁一	佐藤　仁一	佐藤　仁一	佐藤　仁一	佐藤　仁一

午前・専門外来

完全予約制： 予約のない方は受付しておりませんのでご注意下さい。受診を希望される方は、受付窓口にご相談下さい。

診療科目＼曜日	月	火	水	木	金
整形外科	―	片岡晶志(大分大学)	―	―	―
神経内科	―	―	―	西江　信	―
膠原病外来	―	―	―	―	尾崎　貴士(大分大学)

午後・専門外来　完全予約制

●午後診察時間 14:00～17:00

予約のない方は受付しておりませんのでご注意下さい。専門外来はすべて予約制です。受診を希望される方は、受付窓口にご相談下さい。

診療科目＼曜日		月	火	水	木	金
内科	糖尿病外来	―	―	―	藤井　郁夫	山下　愛(大分大学)
	生活習慣病外来	―	千葉政一(大分大学)	―	―	―
	肝臓内科	―	―	本田浩一(大分大学)	―	姫野　克郎
	呼吸器内科	―	―	平井　一弘	平井　一弘	―
	神経内科	西江　信	―	[筋電図検査]	―	西江　信(第2・4外来)
	もの忘れ外来	―	―	―	―	西江　信(第1・3・5外来)
	膠原病外来	―	―	―	―	尾崎　貴士(大分大学)
脳神経外科		一之瀬大輔	中原　成浩	山田　清文	中原　成浩	―
消化器外科・乳腺外科		―	―	広瀬　宣明	広瀬　宣明	―
整形外科		―	片岡晶志(大分大学)	―	―	―
放射線診断科		佐藤　仁一	佐藤　仁一	佐藤　仁一	佐藤　仁一	佐藤　仁一

内視鏡担当医

診療科目＼曜日	月	火	水	木	金
午前	大森　薫	吉田　加奈子	広瀬　宣明	所　征範(大分大学)	大森　薫
午後	姜　正広	吉田　加奈子	吉田　加奈子	所　征範(大分大学)	大森　薫

リハビリテーションについてのご案内

●午前受付時間 11:30まで　●午後は予約制

2014新入職員紹介　Sato's New Face !

放射線科
初心を忘れず、患者さまの目線に合わせた接遇ができるよう日々努力していきます。

1病棟
いつも笑顔で、患者さまに安心していただけるよう関わっていきます。これからたくさんの患者さまと、ともに考え、ともに感じ、ともに成長させて頂こうと思います。

臨床検査科
知識と技術の向上を図り、患者さまが安心して検査を受けられるよう、努めていきたいです。

2病棟
一つ一つの業務を覚えて、早く一人前になれるように頑張ります。

それぞれの熱い想いを胸に、患者さまにご満足いただける人材を目指して頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。

3病棟
回復期リハビリテーションのモットー「あせらず・あきらめず、あなたに合わせてリハビリテーション」の精神で患者さまをサポートしていきたいと思います。

事務部
一つ一つの業務を丁寧に。
日々精進して頑張ります。

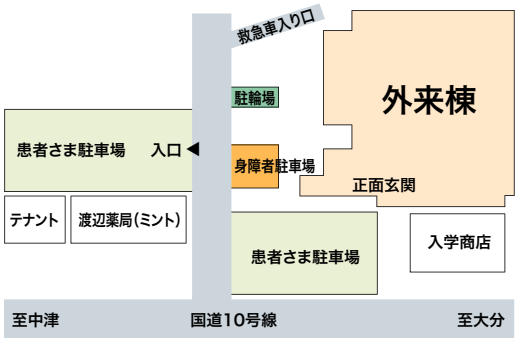
リハビリテーション部
日々、先輩にご指導・アドバイスをもらい、奮闘しながら頑張っています。お互い切磋琢磨しながら、フレッシュパワーで進んで行きたいです。

外来・手術室
先輩方が丁寧に指導してくださるので、期待に応えられるよう日々精進します！

地域医療連携室のご案内
○ 直通TEL0978-34-9322　FAX 0978-34-9323
○ 窓口対応時間
平日　8：30～17：30　(休日) 土、日、祝、祭日

編集後記
外来棟建替え工事がようやく完了しました。地域の皆さまからの温かいご協力に心より感謝申し上げます。新築部分はスペースも広く機能的になり、ガーデンテラス前では寛いで談笑される患者さまの姿をお見かけして嬉しくなります。職員一同、地域の皆さまの健康に貢献できるよう、より一層精進して参ります。今後とも何とぞ宜しくお願い申し上げます。

駐車場のご案内



発行／特定医療法人 明徳会 佐藤第一病院　〒879-0454 大分県宇佐市大字法鏡寺77-1　TEL 0978-32-2110　FAX 0978-33-4918
http://www.sato-d1.com/　E-mail:meitokukai@sato-d1.com